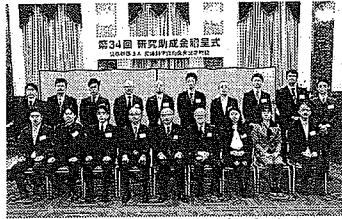


矢崎財団 研究助成金は15人 学術賞は鈴木茨城大講師



選出された研究者ら

矢崎科学技術振興記念財団は9日、第34回研究助成金贈呈式を日本工業倶楽部で開催した。16年度の「研究助成金」受領者は15人、「国際交流援

助」受領者は去年より4名多い17人。過去に研究助成を受けた研究者の中から優れた成果をあげた研究者を讃える「矢崎学術賞」では功績賞で該当者がいなかったが、奨励賞に茨城大の鈴木健仁講師を選出した。また、「特定研究助成金」には京大の土屋智由准教授が対象となった。「一般研究助成」には81件の応募の中から、横浜国立大の稲垣怜史准教授ら5人が選定され20

0万円を、「奨励研究助成」には金沢大の酒田陽子助教や京都工芸繊維大の清水美智子助教ら10人が選定され100万円が助成された。

同財団では、83年から研究助成事業を行っている。新材料、エネルギー、情報の3分野を対象領域に、研究の獨創性に重点を置いて助成対象の研究を選考する。

一般研究助成(助成金200万円)と特に若手研究者を対象とした奨励研究助成(100万円)、財団が特定したテーマにふさわしい研究を助成する特定研究助成(1千万円)がある。ま

た国際的な学会で論文や共同研究発表を行う際の渡航費を「国際交流援助」事業にて援助する。